

shikagaku

生物多様性モニタリング プロトコール集

2



鹿児島県生物教員等ネットワーク

2013（平成25）年2月

みんなで参加・生物多様性調査

鹿児島県にある小中高校の生物多様性に関心をもつ教員と鹿児島大学教員とが交流する場「shikagaku」は、2011年2月19日に県立博物館で開催された準備会（第1回セミナー）をもって発足しました。このセミナーでは、県内、とくに島嶼域における生物多様性の持続的モニタリングを立ち上げるための意見交換を行いました。

昨年2月11日に鹿児島大学で開催された第2回セミナーでは、多くの人が気楽に参加できる多様性モニタリングのマニュアルづくりについて色々なアイデアが出されました。それをもとに5つの調査マニュアルを『生物多様性モニタリング プロトコール集1』として出版し、関係者に配布しました。内容は、「セミの抜け殻を拾ってみませんか?」「校庭や公園でアリの種類をしらべよう」「港で外来アリの調査」「アシロヒラフシアリはいませんか?」「身近な外来植物調査」です。

第3回セミナーは、昨年11月3日、奄美大島の島高校で開催されました。午前中はセミナー、午後から近くの山でフィールドエクササイズを実施しました。セミナーでは、「港の外来アリの調査」を実践した池田高校SSHアリ班による調査の中間報告がありました。

『プロトコール集2』では、「地衣体を探してみよう」「貝類調査のプロトコル（手順書）」「地域の昆虫方言を残そう」の3つを取りあげました。ご覧になって、個人であるいは生徒さんと一緒に取り組んでみたいと思われたら、プロトコール提案者（それぞれに連絡先が書かれています）と連絡をとって、打合せをしてください。

このネットワークは、生物多様性に関心をもつ県内小中高の先生方と鹿大教員が交流と協力をつうじて生物多様性研究と保全に取り組むことを目標としていますが、生徒さんや一般市民の方々も自由に参加できる開かれた組織にしていきたいです。このテーマに関心のある方は、気軽に事務局にお問い合わせください。

鹿児島大学理工学研究科・山根正気：sky@sci.kagoshima-u.ac.jp

鹿児島県立博物館・金井賢一：viola-kk@po.synapse.ne.jp

表紙写真の説明

左上：ウメノキゴケの仲間（南九州市，宮本旬子）

右上：オオフタオビドロバチ（錦江湾・新島，山根正気）

左下：オニヤンマ（霧島市国分，金井賢一）

右下：フトヘナタリ（喜入町，富山清升）